

セミナーのお知らせ

第74回 ITPセミナー
(International Training Program)
異分野連携「HAと炎症」共催
第128回 ECM society 共催



shinkei-tosa.net

硫酸化糖鎖による神経回路 リワイアリングの制御

講演：門松 健治 先生

名古屋大学大学院医学系研究科
生物化学講座 教授



門松先生は、科研費新学術分野「神経糖鎖生物学」の代表として、核酸・タンパク質と並ぶ第三の生命鎖として生命活動を制御する糖鎖がどのように神経機能を制御し、逆に神経活動によってどのように影響を受けるのかについて、研究をリードされています。特に糖鎖の「機能ドメイン」に着目することにより糖鎖の作動原理の解明を目指されています。

門松教授のご仕事に興味をお持ちの方は、大橋までご連絡ください。

参考文献: Imagama, et al., J Neurosci. 31(47):17091-17102, 2011
日本語総説: 生化学 83(3): 240-246, 2011

日時 平成24年11月27日 (火) 17:30-19:00

場所 基礎研究棟1F 大学院セミナー室

連絡先：二宮善文、大橋俊孝 (分子医化学)
(TEL：235-7128, Mail：oohashi@cc.okayama-u.ac.jp)

この特別講義は、院生用講義「研究方法論」の授業とみなすことができます。
「研究方法論」を履修中の大学院生で、この特別講義に参加される場合は、出席記録
(配布済み講義要項のファイルに綴じ込み)に開催者認印をもらってください。